

いわて復興だより

がんばろう！岩手、つながろう！岩手

三陸復興

第43号
(平成25年7月1日号)
岩手県

復興に向けて歩んでいる岩手の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

恵みの雨と強い陽射しが繰り返す今日この頃。復興に向けて歩み続ける被災地。そんな岩手の今を紹介します。

平成25年【第2回】

「いわて復興ウォッチャー調査」の結果を公表しました

岩手県は、東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災した市町村に居住又は就労されている方を対象として実施している「いわて復興ウォッチャー調査」の平成25年第2回調査結果を公表しました。

調査は、復興感に関する内容で、年4回(2月、5月、8月、11月)実施しており、今回は平成25年5月の調査結果です。

主な調査結果として、「被災者の生活の回復度」について、「回復した」「やや回復した」の合計が49.6%と前回より4.5ポイント上がり、「回復していない」「あまり回復していない」の合計は27.7%と前回より4.7ポイント下がりました。

地域別では、沿岸北部で、「回復した」「やや回復した」の合計が59.0%(前回より7.9ポイント上昇)となったのに対し、沿岸南部では45.0%(前回より3.0ポイント上昇)に留まりました。

自由記載欄の傾向としては、沿岸北部を中心に、災害公営住宅の着工・完成を肯定的に評価する回答が多く見られたことから、生活の回復の実感を高めることにつながっているものと考えられます。また、生活環境の格差の拡大を感じるという意見も多く見られました。

次回調査は、平成25年8月を予定しています。今後も継続的に調査を実施し、被災地・被災者の皆様の御意見を復興関連施策に反映させていきます。

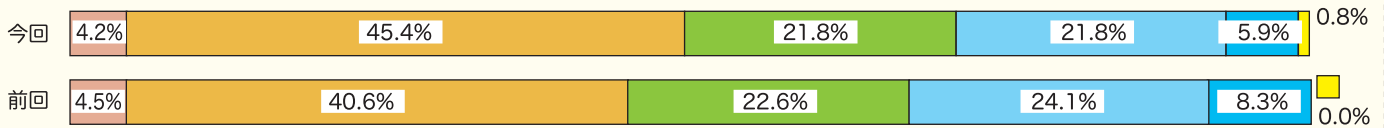
いわて復興ウォッチャー調査 平成25年第2回

検索

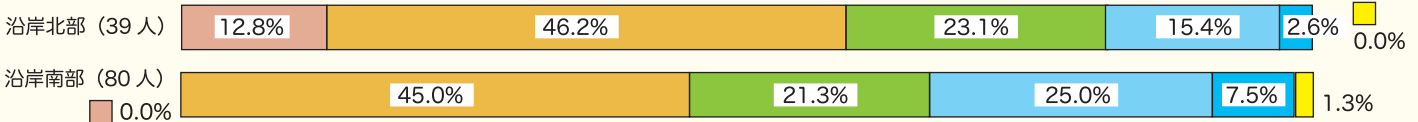
被災者の生活の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

■ 回復した ■ やや回復した ■ どちらとも言えない ■ あまり回復していない ■ 回復していない ■ 分からない



※地域別の結果



6月2日(日)、「かまいしキッチンカー(移動販売車)」の新たな活動拠点として、釜石市大町に「大町ほほえむスクエア」がオープンしました。

東日本大震災津波で被災した中小企業等の再起を図り、新たな事業を創出することで、雇用の場の提供、地域の活性化、買い物弱者への支援を図ることを目的としたプロジェクトのもと、現在8台のキッチンカーが参加しています。

今回オープンした「大町ほほえむスクエア」はキッチンカーに囲まれたウッドデッキの飲食スペースで、ここでは、地元の野菜を使ったカレーや、和洋食、コーヒー、ハンバーガー、たこ焼、クレープなど、気軽に各店の味を楽しむことができます。

「大町ほほえむスクエア」がオープン!

また、夜には居酒屋として営業する店もあり、釜石市街地の新たな賑わいの場として注目されています。



※各種キッチンカーの営業は曜日、時間によって異なります。

いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援!

登録無料

首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員(個人)と応援団(法人及び団体)の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索



6月16日(日)、「復興バザー」が、いわて県民情報交流センター(アイーナ)4階県民プラザで開催されました。

このイベントは、バザーでの収益を義援金にあて被災地を応援することを目的に、平成23年6月よりスタートし、今回で7回目の開催となります。

当日、達増岩手県知事も訪れた会場では、被災された方々の手作りの小物や、沿岸の海産物等を販売する被災地からの出店ブースをはじめ、福祉関係団体や、アイーナ内の各施設から提供



写真：賑わうバザー会場

復興バザー、盛岡市で開催 内陸から沿岸の復興を支援

された品物を販売するブース等、約30のブースが設けられ、大勢の来場者で賑わいました。

今回のバザーの収益金173,781円及び過去6回の収益金838,629円は、岩手県災害義援金募集委員会へ全額寄付されています。

10月6日(日)には、同会場で8回目の「復興バザー」が行われる予定で、イベント担当の松宮浩司さんは、「今後も内陸でのバザー等を通して継続的に被災地をバックアップしていきたい。10月も多くの方にご来場頂きたい」と、内陸から沿岸への支援の思いを語っていました。



写真：大船渡市からの出店



写真：大槌町からの出店

“ふるさとの記憶” いわて 失われた街模型復元プロジェクト展(大槌町)が開催されました

6月28日(金)~30日(日)、大槌町中央公民館で「“ふるさとの記憶” いわて 失われた街模型復元プロジェクト展(大槌町)」(主催：NHK盛岡放送局、共催：「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会、大槌町、大槌町教育委員会)が開催されました。

「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会(企画・構想：槻橋修+神戸大学槻橋研究室/協力：東日本大震災における建築家による復興支援(アーキエイド))は、東日本大震災津波によって失われた街や村を500分の1の縮尺の模型で復元し、震災前の街並みや、そこに暮らした人々の記憶を保存・継承していくことを目指しています。

写真：大槌町の模型を覗き込む来場者



会場には、復元された大槌町の模型が展示され、訪れた方々は、「ここが自分の家だ」「ここを曲がると〇〇さんの家だったなあ」と、模型を指さしながら記憶を蘇らせていました。

また、29日(土)には、NHKアーカイブス「岩手大槌町よみがえれ!ふるさとの記憶」の公開収録が行われました。

会場では震災前の大槌町を記録した懐かしい映像の上映や、NHKの桜井洋子アナウンサーの進行のもと、ジャズピアニスト・小曾根真さん、大槌町在住の歌手・白澤みさきさん、地元大槌町の漁師の方々、「失われた街」模型復元プロジェクトのメンバー・山田恭平さん、大槌町中央公民館館長・佐々木健さんによるトークショーも行われ、およそ200名の来場者とともに大槌町を振り返り、復興への思いを語るイベントとなりました。

シリーズ“ふるさとの記憶”番組ラインナップ・放送予定

- 9/13(金) 大船渡市中心部 NHK(岩手県域)
- 10/4(金) 陸前高田市中心部 気仙町 NHK(岩手県域)
- 11/1(金) 田野畑村島越地区 NHK(岩手県域)
- 12/6(金) 岩泉町小本地区 NHK(岩手県域)
- 1/10(金) 野田村中心部 NHK(岩手県域)
- 3月放送予定 総集編 NHK全国放送

岩手県の被害状況

平成25年6月30日現在

- ▶人的被害 死者：4,672名 行方不明者：1,146名
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 24,928棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

平成25年5月31日現在

- ▶義援金受付状況 約177億7,811万円(85,635件)
- ▶寄付金受付状況 約165億2,091万円(6,163件)
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約57億6,417万円(10,317件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

いわて復興だより 第43号 平成25年7月1日

企画・発行：岩手県復興局総務企画課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス